

おコメの消費を増やそう！ - 米粉に注目して -

山下愛生（兵庫県立北摂三田高等学校）

おコメの消費を増やそう！ - 米粉に注目して -

北摂三田高校2年 山下 愛生
ゼミ指導教員 藤井 敦裕

研究動機

最近、日本人のパン食が増えている中で、日本のコメ消費量が減ってきている。しかし、日本人の体にはやはり小麦よりコメのほうがあっているのではないだろうかと思った。

また、小麦にアレルギーを持っている人達が食べられなかったものを代わりに米粉を使ってつくりたいだろうかと思ひ、そして、今話題のグルテンフリーをかなえることもできるコメをもっと皆さんに食べてほしいと考えた。

研究結果

アンケート結果

	パン派	コメ派	合計
女子	26人	47人	73人
男子	28人	32人	60人
合計	54人	79人	133人

	パン派	コメ派	合計
10代	43人	59人	102人
30代	1人	4人	5人
40代	6人	10人	16人
50代	3人	3人	6人
60代	1人	2人	3人
70代	0人	1人	1人
合計	54人	79人	133人

研究テーマ

米粉を使うことによって、コメの消費量をアップさせたい。

しかし、高校生の私一人でコメの消費量を拡大に挙げることは難しいため、まずは北摂三田高校の中でみんなに米粉の良さを知ってもらおう方法を研究しようと思う。

研究手法

1. 「(米と小麦の消費量の違いを見るために“ご飯”と“パン”の食べる頻度)主食は何か」「米粉の認知度」などのアンケートを作成し、調査する。
2. 米粉の専門店や米粉を使った商品を販売しているお店に取材する。(アンケート結果も元にして)「米粉を使用した商品の販売の目的(どのような思いがあったのか)」「(例えば)米粉パンなど米粉を使った食べ物もとても美味しいのになぜ小麦を使うのか。」など。
3. (米粉を使って実際に何か作ってみる)
4. 米粉についてまとめた冊子を作る(1, 2, 3をもとにして)
5. 北三生にそれを読んでもらい知ってもらおう(読んでくれない人もいると思うから何かしらの工夫をしたい)

まとめ・展望

アンケート予想とは反対に、北摂三田高校では、女性よりも男性のほうがパン派が多かった。

しかし、アンケート調査を行ったのは北摂三田高校内だけなので、日本全国でアンケートを行うと、また違う結果になるだろう。年代の統計としては、母数が少ないので、根拠としては薄い部分があると分析する。

今後の展望(してみたいとおもうこと)

- 1 自分で米粉を使った商品の開発案を作ってみる
- 2 それを作ってみんなりに食べてもらう。

[参考文献]

今後の研究の進展により、類似研究の論文等を見つけていきたいと考えている。